

平成 27 年 9 月 1 日発行
No.290

Shining

シャイニング

発行元：社会福祉法人 拓く

TEL 0942-27-2039

FAX 0942-27-2086

<http://h-polepole.com>

グループ
ホーム

365日稼働のバックアップ拠点「ニュンバ」

ここ数ヶ月の間に、ご家族が病気になり見ることができない、利用者の障害が重度化し家族では見る事ができないなど、平日から土日祭日までの緊急的な受入れが必要な状況が立て続けに起きています。

限られた場所・居室、職員の中で、急きょ職員に追加の勤務を依頼する、入居されている方に利用日の変更をお願いするなどして、ようやくしのぐことができたのが現状です。

とはいえ、365日稼働し、緊急時の受入れができるようなバックアップ拠点を整えることは急務です。

9月から、バックアップ拠点を「ニュンバ」として、今できる範囲で365日稼働体制を整えました。地域支援課だけではなく、日中支援課の職員も日曜日の勤務が入ってくるなど、法人全体で取り組んでいこうとしているところです。

(地域支援課 浦川 直人)

宿泊体験

家以外の場所でも 安心して過ごせるように

現在 5 件の宿泊体験を行っています。利用される方は様々ですが、どうしても自宅でお世話をする事ができない、というタイミングが来ても（ご家族・支援者共に）不安にならずに済むよう、今のうちから泊まりの経験をつみ、家以外の場所でも安心して夜を過ごす事が出来るようになる、という目標も含めて行っています。

宿泊体験を行うにあたり、色々なスタッフに引き継ぎながら、支援者の幅を広げていくことが第一ですが、入居者が増えてきた現在のグループホームの中で、メンバー同士の相性、住環境の安心感等を考慮しながら、どこを選んでいくかということも重要になってきます。

上記の課題を踏まえつつ、今後も利用される皆様が宿泊のステップアップを行えるよう努めていきたいと思っています。

(担当 姫野 健太)

リレートーク

9月1日、今日は何の日？

皆さん、9月1日は何の日かご存知ですよ。 “防災の日”です。皆さんの記憶に新しい大きな災害と言えば、東日本大震災かと思います。今年は台風がたくさん発生し、先日も久留米を直撃するような台風が発生し、ポレポレやグループホームの対応に追われました。朝6時に自宅に出勤の連絡がきましたが、台風の最接近がまじかまで、すでに外は嵐になっており、しばらく様子を見てから出勤となりました。幸い特に大きな被害は出ませんでした。屋根裏の吹上から雨が吹き込み、書類が少し濡れてしまいました。今回の台風からポレポレでも、再度連絡網、懐中電灯など非常用品の再確認を行っています。また、新たにスマホ用の充電器も準備しました。皆さんも防災の日を迎え、防災用品の点検だけでなく避難場所の確認、最近では少なくなってきた公衆電話の場所を確認するなどされてみませんか。(担当 権藤 好子)



(新たに準備したスマホ用充電器)

ひめの会

心の居場所となるように

「ひめの会」は、タイムケアを利用している障害のある小・中・高校生及び、その保護者・学校関係者・支援者等の関係者をつなぎ、それぞれの心の居場所となることを目的とした会です。

情報交換をしたり、ゆったりと話をする場として、毎月1回開催をしています。日頃の些細な困りや漠然とした不安感も「うちだけじゃなかった」「そうなんだ！」と共感できる仲間と出会えることで、和らいでいくきっかけになればと願い、この活動に参画しています。

また、やってみたいことの実現に向けて、みんなで知恵を出し合い、話し合いを進めることもあります。

子ども達も話し合いを持ち、「みんなで考える」という経験を少しずつ積んでいき、イベントの開催や参加の実現を目指しています。一人ひとりの自信にもつながる、とても大切な機会と捉えて活動しています。

(特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会 三岡 彰子)

